夢あふれる学校図書館見学会 府中市立旭小学校会場の様子





【参加者アンケートより】

・　配架の仕方や図書館内のレイアウト、図書委員会の活動内容など、本校に持ち帰って実践に生かせそうなことがたくさんありました。まずは本を手に取りやすい環境にすることを目指して、図書館内の整備を行っていきたいです。その際、本を読むことだけに拘らず、図書室に来てもらうためのイベントなどを行ってみたいです。特にしおり作りや折り紙ワークショップは子どもたちが楽しく活動することができそうだと思いました。

・　本に興味をもたせる工夫がたくさんあり、勉強になりました。ガラスにかけるクレヨンも初めて使ってみて子どもたちが食いつきそうだなぁ、普段なら窓ガラスにお絵描きなんてできないからより一層楽しいだろうなぁと思いました。地域の方と協力して子どもたちの学びのサポートをされていることが素敵でした。

・　図書館は児童が本を借りる、静かに読む場所だけでなく、「楽しい場所」になるように環境を整えておられ、明るい学校図書館にするための参考になりました。楽しいワークショップも企画してくださり、自校でもまねしたいです。

・　ボランティアの方々との関係づくりに大変感銘を受けました。子供を柔らかく包んでいらっしゃる学校体制が軸となり、地域とのあたたかな関係づくりをされているからだと感じました。所属校でも見習って取り組みたいと思います。

・　館内が明るく、書架サインが見やすく、書架が元気で雰囲気の良い学校図書館だと感じました。学校・地域・家庭それぞれの立場から支える読書推進活動を具体的に教えていただけたことも参考になりました。ワークショップでは、たくさんの準備と和やかで丁寧なご対応をありがとうございました。参加者が楽しみながら読書へ繋がるイベントを体験することができました。本日の研修で学んだことを自校の活動に還元したいと思います。



・　図書館教育が学校単独の取り組みではなく「つながり」で包括的なサポート体制を構築されていること、それらの取り組みが児童の読書活動・図書館利用に明確に生かされていることが伝わりました。担当校でもとにかく学校図書館へ行くのが楽しみになる場所へしていけるように、旭小学校の活動を参考に取り組んでいきたいと思います。

・　子供が来たくなるような明るく楽しい空間づくり、学校だけでなく、PTA や地域と関わりながら組織で作っていく学校図書館、子供目線で楽しい掲示や配架の工夫、しおりづくりやキャラクターづくり等の楽しいアイデア、平和学習や食育などと関連させた読み聞かせ、図書委員が主体性をもって活動できていることなど、たくさんのことが勉強になりました。旭小学校の取組を参考に、早速所属校の学校図書館に工作コーナーを作りました。これからも、配架や掲示を工夫して子どもが来たくなるような楽しい空間づくりを目指し、図書委員がさらに主体性をもって活動できるように活動内容を一緒に考えます。また、季節の行事やイベントと関わらせたコーナーや読み聞かせに取り組みます。

・　学校図書館を、読書以外の切り口の活動を設けることや、行って楽しい場所であることを感じさせることが児童の本への興味の第一歩につながると学びました。学校の規模が大きくなくても、たくさんお金をかけなくても取り組める活動をたくさん紹介してくださり、大変勉強になりました。







